

学校法人専修大学 平成 29 年度予算について

標記の件について、別紙「平成 29 年度予算書」を記載のとおり編成しましたので、その概要を説明いたします。

1 予算編成方針

- (1) 目 標 健全財政の確保と事業計画推進の両立
- (2) 基本方針
 - ① 教育・研究環境の質的向上を図る上で、適正な予算編成の実施
 - ② 経常経費の適正化の推進
 - ③ 基本金組入前当年度収支差額の安定的な収入超過を図るために必要な予算査定（ヒヤリング）の実施
 - ④ 中期計画上の施設設備拡充・整備事業計画を推進するために必要な資金確保
 - ⑤ 予算制度を確立するという観点から、当初予算に計上された事業以外の項目については、原則的には当年度での対応を見送る（基本的には特別な事情を除き、補正予算の対象としない。）。

2 資金収支予算 ー前年度予算額との比較ー

〔 概 要 〕

総額は、313 億 3,708 万円で前年度予算に比べ 3 億 5,937 万円の減（前年度予算比 1.13%減）の予算規模となっている。

収入の部では、当年度収入合計が前年度予算に比べ 1 億 4,077 万円の増（前年度予算比 0.56%増）で 251 億 393 万円。前年度繰越支払資金は、前年度予算に比べ 5 億 14 万円の減で 62 億 3,315 万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が前年度予算に比べ 12 億 1,695 万円の減（前年度予算比 4.78%減）で 242 億 4,635 万円。翌年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、前年度予算に比べ 8 億 5,757 万円の増で 70 億 9,073 万円となっている。

〔 内 容 〕

(1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、前年度予算に比べ 2 億 9,185 万円の減（前年度予算比 1.41%減）で 204 億 36 万円。新入生の人数（学部・学科・大学院）を専大で 4,381 人、石巻専大で 336 人を見込み、全体で 4,717 人を見込んでいる。また、全学年では、学費完納見込者数を専大で 18,465 人、石巻専大で 1,157 人を見込み、全体で 19,622 人を見込んでいる。
- ② 手数料収入は、前年度予算に比べ 7,929 万円の増（前年度予算比 8.52%増）で 10 億 1,020 万円。このうち、入学検定料収入は、前年度予算に比べ 8,052 万円増の 9 億 7,500 万円を計上している。
- ③ 寄付金収入は、周年記念事業に伴う特別寄付金として前年度予算と同額の 5 億円を見込んでいる。

- ④ 補助金収入は、前年度予算に比べ 5 億 8,307 万円の増（前年度予算比 65.58%増）で 14 億 7,223 万円。このうち、国庫補助金収入は、経常費補助金の増を見込み、前年度予算に比べ 5 億 8,176 万円の増（前年度予算比 66.38%増）で 14 億 5,813 万円を計上している。
- ⑤ 資産売却収入は、前年度予算と同額の 2 億円を見込んでいる。
- ⑥ 付随事業・収益事業収入は、前年度予算に比べ 2,358 万円の減（前年度予算比 3.63%減）で 6 億 2,535 万円。受託事業収入及び公開講座等収入の減を見込んでいる。
- ⑦ 受取利息・配当金収入は、前年度予算に比べ 2,228 万円の増（前年度予算比 60.47%増）で 5,914 万円。
- ⑧ 雑収入は、前年度予算に比べ 1 億 7,274 万円の減（前年度予算比 18.33%減）で 7 億 6,954 万円。退職金財団交付金収入等の減を見込んでいる。
- ⑨ 借入金等収入は、前年度予算に比べ 9 億円の減で当年度の計上額はない。
- ⑩ 前受金収入は、平成 30 年度入学者の入学手続時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、前年度予算に比べ 5,709 万円の減（前年度予算比 1.48%減）で 38 億 11 万円。
- ⑪ その他の収入は、前年度予算に比べ 2 億 1,983 万円の増（前年度予算比 39.13%増）で 7 億 8,165 万円。前期末未収入金収入の増を見込んでいる。
- ⑫ 資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で前年度予算に比べ 6 億 8,156 万円 振替控除額の減（前年度予算比 13.12%減）で 45 億 1,467 万円。平成 29 年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等の期末未収入金及び平成 28 年度前受金収入をそれぞれ計上している。

(2) 支出の部

- ① 人件費支出は、前年度予算に比べ 3 億 4,452 万円の減（前年度予算比 2.31%減）で 145 億 9,037 万円。退職金等の減による。
- ② 教育研究経費支出は、前年度予算に比べ 1 億 8,090 万円の減（前年度予算比 3.48%減）で 50 億 1,394 万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。
 - ・ 準備品費支出：2,122 万円（5,563 万円の減）
教員個人研究費準備品、博物館実習準備室撮影機器等準備品、展示実習室毛髪式温湿度計、ネットワーク情報学部ビジネスプロジェクター等準備品、石巻学生実験準備品等

- ・消耗品費支出：2億9,930万円（1億4,237万円の減）
ネットワーク情報学部パソコン実習等教材費、授業運営用ソフトウェア、各実習室・実験室消耗品、教員個人研究費消耗品、体育実技用具、各種課外講座消耗品、学位記ファイル、石巻学生実験消耗品、受託研究費消耗品等
- ・図書資料費支出：2億146万円（3,311万円の減）
和雑誌、洋雑誌、加除式資料、電子資料等
- ・印刷製本費支出：1億8,604万円（1,384万円の減）
学修ガイドブック、授業時間割、全学講義要項、教員個人研究費、各学部論集、学位記、教育学会、各種課外講座案内、キャンパスライフ、学生手帳、自己啓発懸賞論文・文芸作品コンクール入選作品集、海外留学・国際交流ガイド、就職手帳、ニュース専修、和・洋雑誌製本・修理等
- ・光熱水費支出：6億4,707万円（1,830万円の増）
電気料、ガス料、重油・灯油代、上下水道料等
- ・旅費交通費支出：2億3,146万円（1,183万円の減）
ゼミナール合宿出張旅費、学会出張旅費、研究助成旅費、在外研究員研究旅費、教員個人研究費旅費、路線バス運賃補助等
- ・奨学費支出：7億7,127万円（2億5,742万円の増）
新入生特別奨学生、学術奨学生、スカラシップ奨学生、進学サポート奨学生、大学院学術奨学生、法科大学院新入生学術奨学生、今村力三郎記念奨学生、神山奨学生、家計急変奨学生、災害見舞奨学生等
- ・修繕費支出：6,354万円（8,837万円の減）
神田校舎受変電設備部品交換工事、神田体育室漏水対策工事、神田303教室椅子座面交換工事、生田1号館冷却塔分解修理工事、伊勢原セミナーハウス空調機取替工事、石巻本館エレベータ改修工事、5号館トイレ改修工事等
- ・委託費支出：13億4,038万円（7,888万円の減）
大学生基礎力レポート、学部案内Web対応、授業評価集計業務、学生安否確認サービス、公式ホームページ全面リニューアル、教学システム開発、大学直通バス運行、図書整理・受入・閲覧業務、法律総合講座等各種課外講座委託、各留学プログラム、CALL教室運用サポート、受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、交通誘導業務、卒・入学式会場設営、各教育事務所管人材派遣、セミナーハウス管理業務、石巻学生寮管理業務等
- ・賃借料支出：1億2,467万円（1,110万円の減）
教育支援システム、教員メールシステム、Web履修登録システム、大学ホームページシステム外部サーバー、就職合宿研修会会場借用、各種データベース利用料、卒・入学式会場借用、入学試験会場借用等
- ・謝礼費支出：1億733万円（1,463万円の減）
教員個人研究費、各学部論集原稿料、研究助成費、融合領域科目学外講師料、法科大学院フォローアップ講座講師料、各留学プログラム事前・事後研修講師料、各種課外講座講師料、就職合宿研修会等就職指導講座講師料、専フィル指揮者演奏指導料等

③ 管理経費支出は、前年度予算に比べ9,594万円の減（前年度予算比6.23%減）で14億4,523万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は、以下のとおり。

- ・修繕費支出：939万円（1,729万円の減）
神田校舎受変電設備部品交換工事、生田学生食堂空調設備修理工事、伊勢原セミナーハウス空調機取替工事等
 - ・広告費支出：3億665万円（2,270万円の減）
交通広告、駅看板、電車内中吊り・窓上広告、WEB広告、新聞・雑誌広告等
 - ・謝礼費支出：2,386万円（1,692万円の減）
オープンキャンパス講師料、プレ入試解説授業講師料、ニュース専修原稿料等
- ④ 借入金等利息支出は、前年度予算に比べ321万円の増で321万円。
- ⑤ 借入金等返済支出は、前年度予算に比べ1億4,563万円の増で償還計画に基づく返済額。
- ⑥ 施設関係支出は、前年度予算に比べ14億1,023万円の減（前年度予算比51.86%減）で13億900万円。主な内容は、後記の〔主な施設等整備事項〕で記載している。
- ⑦ 設備関係支出は、前年度予算に比べ56万円の増（前年度予算比0.13%増）4億2,975万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、前年度予算に比べ1,793万円の増で2億3,045万円。無線LANシステム更新、学内LANスイッチ更改、Web履修登録システム更新、神田2号館教室視聴覚設備、生田1・9号館端末室椅子、生田5号館教室視聴覚設備、地理学実習室マイク設備、心理学研究教員室実習授業管理用パソコン、博物館実習室スキャナー、博物館実習準備室全自動超低湿庫、運動生理学実験室低酸素制御装置コンプレッサー、生田第2体育寮高気圧酸素カプセル、教員個人研究費機器備品、石巻学生実験機器等。図書支出は、前年度予算に比べ11万円の増で1億9,550万円。
- ⑧ 資産運用支出は、前年度予算に比べ1,006万円の減（前年度予算比1.52%減）で6億5,001万円。有価証券購入支出は、2億円を計上。第2号基本金引当特定資産繰入支出、退職給与引当資産繰入支出、施設設備準備資産繰入支出は計画による繰入額。
- ⑨ その他の支出は、前年度予算に比べ4億7,938万円の増（前年度予算比36.80%増）で17億8,189万円。このうち、前期末未払金支払支出は、前年度予算に比べ5億44万円の増で、16億9,750万円。平成28年度末に退職の教職員退職金、過年度リース契約取引の平成29年度リース料等。
- ⑩ 予備費は、前年度予算と同額で1億5,000万円。
- ⑪ 資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で、前年度予算に比べ1億9,593万円振替控除額の減（前年度予算比12.81%減）で13億3,385万円。平成29年度末に退職する教職員の退職金、3月分退職金財団掛金及び日本私立学校振興・共済事業団掛金等未払金、平成28年度末における和雑誌・洋雑誌の購入に係る前払金の回収見込額をそれぞれ計上。

[主な施設等整備事項]

専修大学

①神田 1～3 号館トイレ改修工事 ②神田 303 教室前照明器具更新工事 ③神田新校舎（仮称）新築工事 ④生田 1 号館昇降機改修工事 ⑤生田 5 号館系統他電源工事 ⑥生田 6 号館解体に伴うネットワーク設備他事前切替え工事 ⑦生田食堂館高圧受変電設備更新工事 ⑧伊勢原トレーニング場エアコン設置工事 ⑨伊勢原体育寮浴室ボイラー更新工事 ⑩箱根セミナーハウスボイラー及び貯湯タンク更新工事

石巻専修大学

①E8 実験室エアコン改修工事

3 事業活動収支予算

[概要]

事業活動収支予算では、事業活動収入計が前年度予算に比べ 1 億 9,646 万円の増（前年度予算比 0.79%増）で 249 億 8,693 万円。事業活動支出計は、前年度予算に比べ 5 億 2,652 万円の減（前年度予算比 2.17%減）で 237 億 2,964 万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、12 億 5,728 万円となっている。基本金組入額合計は、前年度予算に比べ 4 億 4,116 万円の組入額減（前年度予算比 15.29%減）で△24 億 4,348 万円となり、基本金組入前当年度収支差額と基本金組入額合計を合わせた当年度収支差額は、前年度予算に比べ支出超過の額が 11 億 6,416 万円の減（前年度予算比 49.53%減）で△11 億 8,619 万円となっている。前年度繰越収支差額（△358 億 9,292 万円）を加えた翌年度繰越収支差額は、△370 億 7,912 万円となっている。

[内容]

※事業活動区分ごとに、前記の資金収支予算と共通の科目を除く事業活動予算特有のものについて説明。

(1) 経常収支

① 教育活動収支

（事業活動収入の部）

- ・ 寄付金は、施設設備寄付金を除いたもので、前年度予算と同額の 2 億円。周年記念事業に伴う特別寄付金。
- ・ 経常費等補助金は、施設設備補助金を除いたもので、前年度予算に比べ 6 億 171 万円の増（前年度予算比 69.39%増）で 14 億 6,890 万円。国庫補助金では、経常費補助金の増を見込んでいる。

（事業活動支出の部）

- ・ 人件費は、前年度予算に比べ 2 億 2,858 万円の減（前年度予算比 1.54%減）で 146 億 4,227 万円。退職給与引当金繰入額 10 億 3,523 万円（1 億 5,437 万円の減）を含んでいる。

- ・教育研究経費は、前年度予算に比べ1億9,186万円の減（前年度予算比2.57%減）で72億6,165万円。減価償却額22億4,770万円（1,096万円の減）を含んでいる。
- ・管理経費は、前年度予算に比べ9,622万円の減（前年度予算比5.46%減）で16億6,607万円。減価償却額2億2,084万円（28万円の減）を含んでいる。

教育活動収入計は、前年度予算に比べ1億9,282万円の増（前年度予算比0.79%増）で244億7,435万円。教育活動支出計は、前年度予算に比べ5億1,668万円の減（前年度予算比2.15%減）で235億7,000万円となり、教育活動収支差額は、9億435万円となっている。

② 教育活動外収支

教育活動外収入計は、前年度予算に比べ2,228万円の増（前年度予算比60.47%増）で5,914万円。教育活動外支出計は、前年度予算に比べ321万円の増で321万円となり、教育活動外収支差額は、5,592万円となっている。

③ 経常収支差額

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は、9億6,027万円となっている。

(2) 特別収支

特別収入計は、前年度予算に比べ1,864万円の減（前年度予算比3.95%減）で4億5,343万円。特別支出計は、前年度予算に比べ1,305万円の減（前年度予算比67.03%減）で642万円となり、特別収支差額は、4億4,701万円となっている。特別収支の科目別内訳は以下のとおり。

① 特別収入

科目別内訳

その他の特別収入

施設設備寄付金	30,000万円
受贈および編入図書	15,000万円
その他の受贈資産	10万円
施設設備補助金	333万円

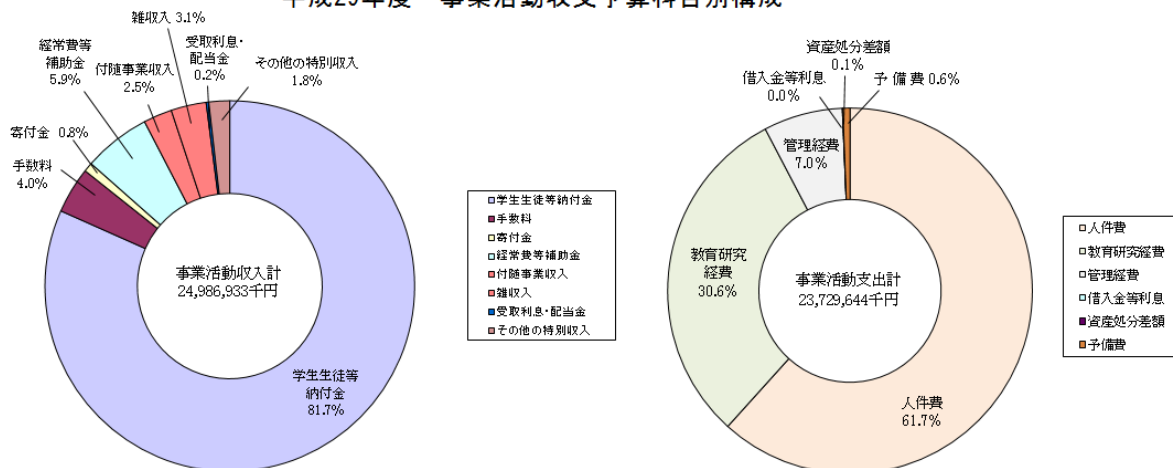
② 特別支出

科目別内訳

資産処分差額	
設備処分差額	642万円

(表1)

平成29年度 事業活動収支予算科目別構成



(表2)

主要財務比率

比率	算式 (×100)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	58.51 % (52.8 %)	59.58 % (52.4 %)	60.67 % (50.9 %)
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	73.44 % (71.9 %)	74.61 % (72.4 %)	72.98 % (73.3 %)
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	34.24 % (31.2 %)	31.13 % (31.5 %)	33.12 % (31.2 %)
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.98 % (9.2 %)	7.73 % (8.8 %)	8.08 % (9.0 %)
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△1.62 % (4.8 %)	0.59 % (5.2 %)	△3.34 % (7.2 %)

備考： () 内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

学校法人会計基準改正に伴う新たな財務比率

比率	算式 (×100)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (補正予算)	平成29年度 (予算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.43 % (53.7 %)	61.15 %	59.68 %
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	72.89 % (73.0 %)	71.87 %	71.77 %
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.07 % (33.2 %)	30.65 %	29.60 %
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.55 % (9.3 %)	7.25 %	6.79 %
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前} \\ \text{当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△5.37 % (4.7 %)	2.16 %	5.03 %

備考：経常収入は、教育活動収入計と教育活動外収入計の合計

備考： () 内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。